



# 貸借対照表の仕組みと資金の回転

資産の部	流動資産	負債の部	流動負債
	固定資産		固定負債
	合計金額		資本の部
合計金額		合計金額	

## 流動項目と固定項目の区別

「営業循環基準」:

企業経営の主目的である営業取引によって発生した資産・負債の項目を“流動”に分類する。

「ワン・イヤー・ルール」:

営業循環の過程から外れている項目に適用するルールで、決算日の翌日から一年以内に入金や支払の期限が到来するものを“流動”に分類する。

これらの両方の基準によって“流動”に分類されなかった項目を、“固定”に分類する。

※ 説明の簡略化のため、繰越資産の項目は割愛

## 貸借対照表は企業の財産の目録

「右側(貸方)」:

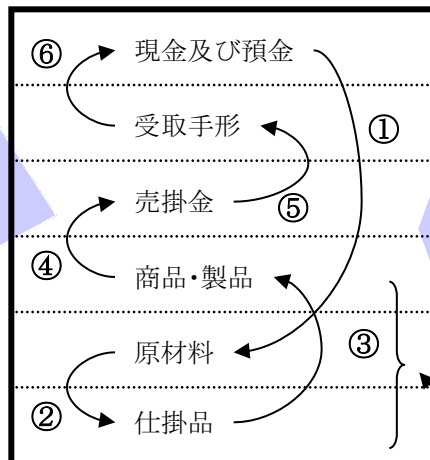
企業の財産の源である「資金」の出元を一覧にしたもの。負債は他人からの資金を指し、資本は株主(会社の所有者)の資金を指している。

「左側(借方)」:

企業を運営していく上で「資金」が、どのような形に変わっているかを一覧にしたもの。

**貸借対照表の右側と左側の合計額は必ず一致する。**貸借対照表を英語で、Balance Sheet (B/S) と言うが、これは左右が常に同額となることから、つけられた名前。

## 流動資産



- ① 現預金で、原材料を買う
- ② 原材料を加工する
- ③ 商品・製品が完成する
- ④ 商品・製品が販売される
- ⑤ 請求に対して、手形を受け取る
- ⑥ 手形の期日が来て、現金を回収する

※ これらをまとめて棚卸資産と呼ぶ